

なごや子どものための

平成23年度下期

—じゅんかいげきじょう—

# 巡回劇場

入  
場  
料

子ども=500円 おとな=800円  
(3歳以上中学生以下) (全自由席)



— 人形劇団むすび座 —

## 天人松の兄ちゃん(てんにんまつのおんちゃん)

平成24年 2月 12日(日) 昭和区役所講堂  
2月 18日(土) 熱田文化小劇場  
2月 25日(土) 守山文化小劇場  
2月 26日(日) 天白文化小劇場

AM10:30~、PM2:00~(各日2回公演)

前売りチケット 平成23年12月10日(土) 発売予定  
チケットびあ[Pコード 416-870]/ローソン[Lコード 46475]

お問い合わせ・お申し込み先

人形劇団むすび座 TEL(052)623-2374

— 名古屋フィルハーモニー交響楽団 —

## 名フィルがやってきた!

平成24年 3月 3日(土) 中川文化小劇場  
3月 4日(日) 南文化小劇場

AM11:00~、PM2:00~(各日2回公演)

前売りチケット 平成23年12月7日(水) 発売  
チケットびあ[Pコード 155-904]/ローソン[Lコード 46550]

お問い合わせ・お申し込み先

名フィル・チケットガイド TEL(052)339-5666

— 岩瀬よしのりと鬼剣舞 —

## うたものがたり「あほろくの川だっこ」

平成24年 3月 11日(日) 港文化小劇場  
3月 17日(土) 中村文化小劇場  
3月 25日(日) 北文化小劇場  
3月 28日(水) 名東文化小劇場

AM10:30~、PM2:00~(各日2回公演)

前売りチケット 平成23年12月15日(木) 発売予定  
ローソン[Lコード 46529]

お問い合わせ・お申し込み先

企画制作楽大夢 TEL(0568)51-4199

— 狂言共同社 —

## 狂言でござる!

平成24年 3月 24日(土) 西文化小劇場  
3月 25日(日) 緑文化小劇場

AM11:00~、PM2:00~(各日2回公演)

前売りチケット 平成24年1月10日(火) 発売予定  
チケットびあ[Pコード 417-104]

お問い合わせ・お申し込み先

狂言共同社 TEL(052)911-8784

※取扱場所によりチケット購入方法、手数料等が異なる場合があります。

※名古屋市文化振興事業団 チケット取扱あり TEL(052)249-9387 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

- 主催 なごや子どものための芸術劇場実行委員会  
(名古屋市、公益財団法人名古屋市文化振興事業団、財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団、愛知児童・青少年舞台芸術協会)
- 後援 名古屋市教育委員会、名古屋市子ども会連合会



なごや子どものための

平成23年度下期 —じゅんかいげきじょう—

# 巡回劇場

なごや子どものための巡回劇場は、日ごろ生の舞台に接する機会の少ない子どもたちに、テレビ等では味わえない感動を伝えたいと、昭和55年から始まりました。できるだけ低料金で、子どもたちの住んでいるところになるべく近い場所を会場として実施しています。

平成23年度下期は、人形劇団むすび座、名古屋フィルハーモニー交響楽団、岩瀬よしのりと鬼剣舞、狂言共同社の4団体が各区を巡回して公演します。お近くの会場へ、ご家族あるいはお友だち同士で、お気軽にお出かけください。

—— 人形劇団むすび座 ——

## 天人松の兄ちゃん(てんにんまつのおんちゃん)

その村には、一本の大きな松の木「天人松」が、天にも届けとそびえていた。天人松のかたわらには川が流れ、鳥がさえずり、もののけたちが戯れている。

さざりは笛を吹くのが大好きな女の子だ。いつものように天人松の下で笛を吹いていると、どこからか風のように少年が現れた。さざりは少年を兄(あん)ちゃんと呼び、二人はまるで本当の兄弟のように遊び幸せだった。ところがある日……

さざりと少年(天人松の精)の悲しくも心温まる物語。舞台中央に置かれた天人松の大太鼓。力強い演奏にからだも心もおどります。人形劇と和太鼓の魅力あふれるコラボレーション、ぜひご家族で味わってください。

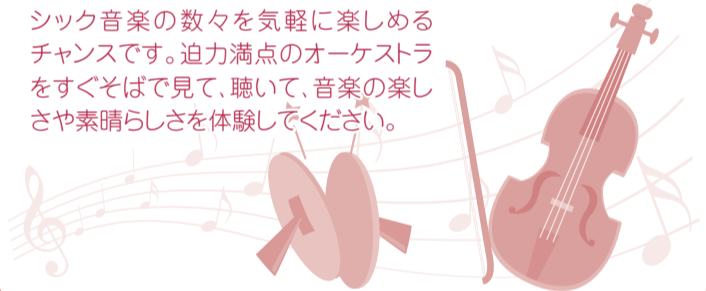


—— 名古屋フィルハーモニー交響楽団 ——

## 名フィルがやってきた!

オーケストラの生演奏を聴く機会の少ない子どもたちと保護者のみなさんに、アットホームな雰囲気の中で気軽に音楽を楽しんでもらいたい。そうすれば、きっとオーケストラが身近に感じられ、音楽を好きになってもらえる。そんな思いをもって、名古屋フィルハーモニー交響楽団があなたの街までやってきます!

大きなホールで遠くからオーケストラをながめるのとは違い、演奏者たちの動きや息づかいを感じられるほど客席と舞台が近く、迫力のある演奏を間近に体験できます。指揮者もオーケストラの楽器や演奏する曲目について、楽しくわかりやすくお話ししてくれます。どこかで聴いたことのある、クラシック音楽の数々を気軽に楽しめるチャンスです。迫力満点のオーケストラをすぐそばで見、聴いて、音楽の楽しさや素晴らしさを体験してください。



—— 岩瀬よしのりと鬼剣舞 ——

## うたものがたり「あほろくの川だいこ」

このお話は美濃と尾張の間を木曾川、長良川、揖斐川が、まるで蜂の巣のように流れていた頃の話です。

ある嵐の翌日、一人の若者が川の中を流されて来ました。男は目も見えず、そのうえ自分の名前まで忘れてしまっていたのでした。

若者は「あほろく」と村人に呼ばれ、その村で暮らすことになりました。

昔は川の堤防は低く大雨が降るたびに大水が村を襲いました。

そこで「ろく」は大雨の日、川の堤に立ち、川の様子を太鼓をたたいて知らせる「川だいこ」の役を引き受けることになりました。そのおかげで村は大変助かりました。

しかし、ある日ものすごい大雨が村を襲います。ろくは川の堤にしっかりと立ち、仁王様のように顔を真っ赤にして太鼓を打ち続けるのでした……



—— 狂言共同社 ——

## 狂言でござる!

「柿山伏(かきやまぶし)」 柿をぬすんでたべていた山伏、柿主にみづかりあわてて木のかけにかくれましたが、からかわれて犬のまね、猿のまねなど大あわて…。

「井杭(いぐい)」 清水の観音様からさずかったふしぎな頭巾、頭にかぶるとあらふしぎ、いぐいのすがたがきえてしまいました…。

「附子(ぶす)」 太郎冠者も次郎冠者もいたずら大好き、いつも主人と知恵くらべです。猛毒の附子も、二人にかかったらたまりません…。

「梟山伏(ふくろうやまぶし)」 ふくろうにとりつかれた病人、山伏はいっしょうけんめいのりますが、あれれ!なんだかようすがおかしいぞ…。

実演をまじえた楽しくわかりやすい解説。

ついでに大きな声をだしてみよう。

手足もちょっと動かしてみよう。

はじめて狂言を見るお子さんも、

お父さんもお母さんも、

いっしょに楽しみましょう。

今年も“狂言がやってきた!”

